



鳥海イヌワシみらい館通信

Vol. 1 2012 新年創刊号

発行: 猛禽類保護センター

〒999-8207 山形県酒田市草津湯ノ台 71-1 TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683
http://www.raptor-c.com E-Mail: moukin@raptor-c.com

謹賀新年



「(一)出羽富士 (二)イヌワシ (三)民田なす」の図

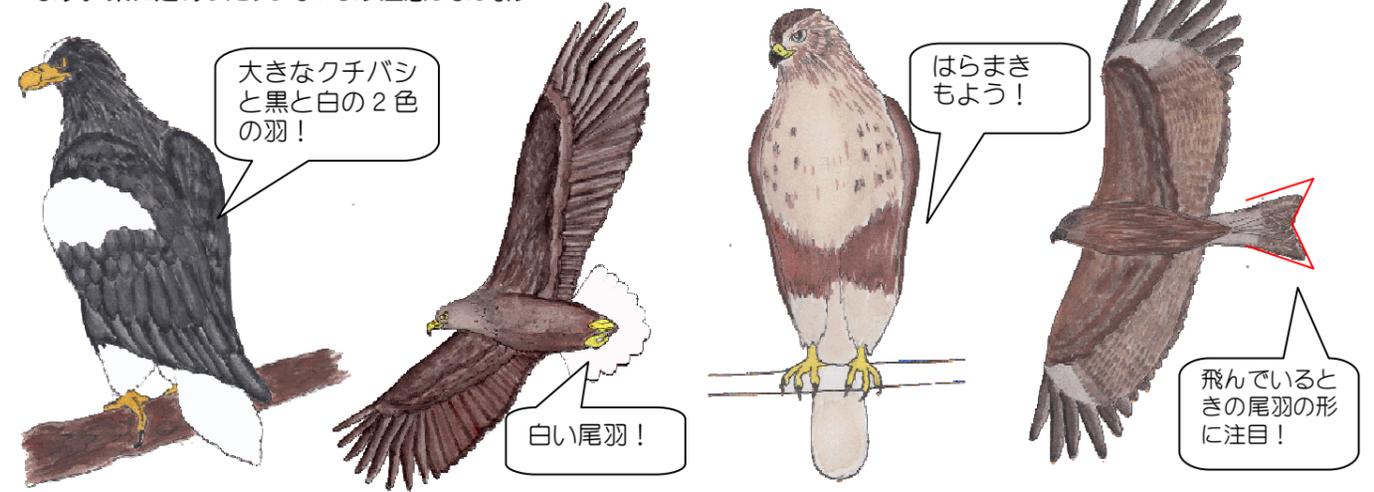
「(一) 富士、(二) 鷹、(三) なすび」初夢で見ると縁起がよいといわれるこの3つのもの。実は徳川家康が好んだものだそうです。これらを山形県庄内地方バージョンで作成してみました。(民田ナスは鶴岡市民田地区で取れる丸ナスです。実のサイズも小さい上に大部分をヘタがおおっていて、可食部分はわずかですが、その味と風味は絶品! 俳聖松尾芭蕉も「奥の細道」で「めづらしや山を出羽の初なすび」と民田ナスのことを俳句に残しています。茄子漬などにして食べたりしますが、ヘタごと砂糖漬けにした面白いお菓子も作られています。)

鳥海山は標高2236m。その雄大な姿は「出羽富士」とも呼ばれています。偶然にも「フ・ジ・サン・ロク」と語呂も良い! そんな鳥海山に生息する絶滅危惧種に指定されている貴重な「イヌワシ」。イヌワシが生息できる自然環境を守り、伝えていくことが「鳥海イヌワシみらい館」の役目です。その中のひとつ、情報発信として、このたび「鳥海イヌワシみらい館通信」をスタートすることとなりました。今後も定期的に年4回発行していく予定です。皆さんにとって良い年でありますように!

～バードウォッチングへの誘い～ 第1回

★冬だから・・・ワシ・タカウォッチング!★

みなさん、猛禽類の観察シーズンは春から秋までだなんて思っていないませんか? いえいえ、実は冬だからこそ見てほしい猛禽類がいるんです。外は寒い、雪も降るかもしれないけれども、この時期でしか会うことのできない魅力的なワシやタカに会いに行ってみましょう! イヌワシなどの留鳥(一年中、同じ地域で暮らす鳥)のワシタカ類は、冬に子育てをします。巣に近寄りたらないよう注意しましょう!



オオワシ 体長: 約 1m 翼を広げた大きさ: 約 250cm 冬に渡ってくる大型のワシタカの仲間、山形県ではめったにお目にかかれない!	オジロワシ 体長: 約 1m 翼を広げた大きさ: 約 230cm 冬に渡ってくる大型のワシタカの仲間。こちらめったにお目にかかれない!	ノスリ 体長: カラスと同じくらい 一年を通して見れるけれど、ここ庄内では冬は電柱や防雪柵にとまっていることが多く、見る機会が増えるかも。	トビ 体長: カラスより大きい 一年を通して見れます。強い風にも負けずに飛んでいるところを見かけることも多いはず。
--	---	--	--

★どこで見られる?★

ワシ・タカを見る方法①「見られそうなスポットに行く」

早い話これが一番なんですが、たとえば魚やカモなどを食べているオオワシやオジロワシは食べるものがないところにはあまり行きません。大きな川沿いや海沿いを狙ってみてください。あとは運次第! ここ庄内では、最上川、赤川、鶴岡市大山・上池下池などが観察スポットです。

(写真: 鶴岡市大山・下池は猛禽類以外にもカモやハクチョウなどの水鳥も観察することができます。)



ワシタカを見る方法②「野鳥観察会」

初めての人で、「鳥が飛んでいるのはわかるけれども・・・。なんの鳥?」という人は、地域で開催されている野鳥観察会に参加してみてもいいかもしれません。鳥の種類、見分け方を教えてもらえるし、一人では気がつかない鳥を見られることもあります!

(写真: 野鳥の会やまがた 観察会)



ワシタカを見る方法③「鳥海イヌワシみらい館」

寒いのもイヤ! 見れなかったらもっとイヤ! というわがままなあなた! 鳥海イヌワシみらい館ではこれら冬のワシタカ類を剥製にて展示中! 動いている姿ではないけれども、その大きさや勇ましい姿を間近に見ることができます。(寒いところにありますので温かい服装で来て下さいね。雪道の運転にも気をつけて!)

※春には展示替えをして季節のワシタカ類に入れ替わります



◆観察するときの持ち物や服装は？マナーも守って。◆



双眼鏡



メモ用具



鳥の図鑑



カメラ



方位磁石



救急セット



温かい飲み物



お弁当

手袋と帽子、マフラーをつけましょう。雨や風を通さないレインコートなどの下にはフリースなどを着用して暖かくします。靴は防寒機能のある長靴などが良いでしょう。観察用具として双眼鏡、図鑑があると便利です。筆記用具やノート、カメラといった記録用具、休憩のときに温かい飲み物があるといいです。救急セットも用意しましょう。お弁当を忘れずに！

※ 観察のときのマナーと注意！

- ・ 双眼鏡で太陽を見ないこと！ ・ 食べ残しやごみは持ち帰りましょう！
- ・ 他の観察している人たちに迷惑をかけることはやめましょう！
- ・ ケガに気をつけよう！ ・ 鳥に近づき過ぎないようにしましょう！
- ・ 巣に近づいたり、繁殖の妨げになる観察はやめましょう！

◆「鳥海イヌワシみらい館」2011年の活動の中から◆

◆秋田市大森山動物園にてイヌワシ観察会を開催しました！ 2011年10月1日(日)



普段は飼育ケージの中でしか見ることのできないイヌワシを、この観察会では特別に飼育員さんの腕に乗せた状態で、間近に観察することができました。参加者はうれしそうに記念撮影をしていました。近くで見るイヌワシのするどいツメや、眼光は迫力満点です。※翌日は鳥海山での野生のイヌワシの観察会を予定していましたが、悪天候のため中止地になってしまいました・・・。

◆鶴岡市大山・下池にて観察会を開催しました！ 2011年12月11日(日)



「冬のワシ・タカ探し」と題して、冬にやってくる猛禽類の観察会を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、なかなか観察することができないオオワシ、オジロワシも見ることができ、庄内で越冬していることを参加者の皆さんに知っていただきました。

あしがき&施設情報

普及啓発担当より

あけましておめでとうございます。鳥海山は冬真っ只中です。現在秘密の普及啓発グッズを作成中！春までのお楽しみです。皆さんにとって良い年でありますように。今年もどうぞよろしくお願いいたします！次回「鳥海イヌワシみらい館通信 Vol.2」は4月ごろ発行の予定です。(本間)



猛禽類保護センター事務局より

「冬来たりなば春遠からじ」私の好きなことわざです。平和で幸せな辰年でありますようにお祈りします！(村上)



環境省 鳥海南麓自然保護官より

こんにちは。創刊号のご挨拶代わりに当センターの紹介をいたします。

猛禽類保護センターは、2000年に環境省がイヌワシなど絶滅の危機にある希少猛禽類(ワシタカ類)の保全、調査・研究、普及啓発活動を行うために設置しました。運営は酒田市、山形県、環境省で協力しあっています。普及啓発活動の1つとして、当通信の発行を始めることにしました。タイトルにも使用している「鳥海イヌワシみらい館」は、センターの愛称です。10周年を記念し、2010年10月に公募作品1,351の中から決定しました。同時にイヌワシのキャラクターも公募し、表紙タイトルのワッシーくんが412作品からセンターキャラクターに決定しました。

愛称やキャラクターを募集したのは、いろいろな思いがあつてですが、1番は「猛禽類保護センター」という名前が難しく何の施設かわからない、敷居が高くて入りづらいといった声をよく耳にしたからです。絶滅の危機にあるイヌワシを多くの人に知っていただき、保全の輪を広げる役目を持っているセンターがこうではいけない！ということで、わかりやすく親しみやすい愛称を募集しました。愛称にしてはちょっと長いかな？と思いますが、ワッシーくん共々、よろしく願います。

イヌワシってなに？どんな生き物なの？どうして絶滅しそうなの？見たことないけど野生のイヌワシって見られるの？そんな疑問を持たれた方は、ぜひ鳥海イヌワシみらい館や観察会にお越しください。遠いなあとの方は、まずはHPを！(大木)



このページのイラストはワッシーくんの作者、イラストレーターの津野雅海さん提供によるものです。Illustration: ©Masami Tsuno

◆イベントのお知らせ◆ 「雪のイヌワシの森を遊ぼう！」

鳥海山の春はまだまだ先！かこくな環境の中でも多くの生き物たちが生活しています。鳥海山の自然を遊びながらみんなで体感してみませんか？冬の鳥海山を知ってこそ真のイヌワシマスター！



期日：平成24年3月3日(土)
時間：午前10:00～午後2:00
場所：鳥海イヌワシみらい館周辺
服装：スキーウェアなど防寒着上下、長靴、手袋、帽子、マフラー、ゴーグルまたはサングラス
(簡単なトレッキングをしますので動ける服装でご参加ください)
持ち物：昼食、温かい飲み物、靴下などぬれた時の着替え、図鑑(持っている人)

参加対象：小学生～中学生とその保護者、一般
参加費：200円(保険代、資料代)
募集人数：先着10名(※定員になり次第締め切ります。)
募集締切：2月29日(木)
お申込み：鳥海イヌワシみらい館
TEL0234-64-4681 FAX0234-64-4683
E-mail:moukin@raptor-c.com
無料往復送迎バスをご利用可能です。お申込み時にお知らせください。

午前8:50「酒田市役所」発
午前9:20「八幡タウンセンター」発

◆冬季休館日のお知らせ◆

冬でも除雪をして皆さんの来館をけなげに待っているのです。
1月、2月・・・毎週火曜日、土曜、日曜、祝日
3月・・・毎週火曜日
4月より通常開館
開館時間・・・9:00～16:30
入館料・・・無料



冬期間のご来場は雪道になりますので、スタッドレスタイヤやチェーンを装着した上で、安全運転でお越しください。